

2021-22 年度 RI テーマ：奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
ガバナー方針：「チェンジローター 新時代への成長に！」— コロナゼロ・カーボンゼロ支援 —
クラブ方針：「楽しく、優雅なローター活動を」～ Enjoy & Grace Under Pressure ～



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

名古屋空港ロータリークラブ

名古屋市中村区名駅 3-11-13 レジデンス鈴木 1101
TEL) 052-446-6811 [FAX] 052-446-6812
E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp
会長/ 田邊 雅彦
幹事/ 川口 直也
公共イメージ向上委員長/ 杉本 敦永
例会日/毎週月曜日 12:30~13:30
例会場/名古屋マリオットアソシアホテル



第 2064 例会

2021 年 7 月 19 日 (月) 第 3 回

- 点 鐘 会長 田邊 雅彦 君
- 斉 唱 「奉仕の理想」
- 例会行事 卓話 (株)サクラカゴ
代表取締役 岡田 麻央様
「幸せな人生のきっかけを
バスケットボールで作る」
- ゲ ス ト 地区大会実行副委員長
小野田 誓 君 (名古屋錦 RC)
地区大会実行委員
吉田 滋代 君 (名古屋錦 RC)
- 司 会 照井 通夫 SAA 委員長

会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 田邊 雅彦 君



会員の皆様、こんにちは。本日は 10 カ月ぶりに外来者卓話として(株)サクラカゴ 代表取締役 岡田麻央様をお迎えしております。卓話をよろしくお願い申し上げます。また、地区大会の PR として地区大会 実行副委員長 小野田誓君と名古屋錦 RC 会長/地区大会実行委員 吉田滋代君がお越しいただいております。よろしくお願い申し上げます。

皆さん、体調はいかがですか？ 毎晩寝苦しい日が続いてますね。先週末には梅雨明けしたようですので、これから 30 度を超える真夏日が続きます。この時期、熱中症なのか、新型コロナなのか、見分けがつかない症状におちいる可能性がありますので、しっかりと水分補給を取るよう心がけてください。

さて、本日 19 日、7 月の第 3 月曜日は本来なら「海の日」で祝日に当たります。

今年はオリンピック開催のため、特別措置として祝日変更が行われ、7 月 19 日の海の日は(オリンピック開会式の前日として)7 月 22 日(木)に、(オリンピック開会式当日は)10 月 11 日のスポーツの日が 7 月 23 日(金)に移動しました。

そして 24・25 の土日を加えて 4 連休を作ったわけです。

お手持ちのスケジュール帳やカレンダーが異なるのは、政府の発表が昨年末だったため、印刷後になってしまったためです。

ちなみに 8 月 11 日(水)の山の日もオリンピック閉会式の 8 月 8 日(日)に引っ越しをしますので、翌 8 月 9 日(月)が振替休日になっています。

今週、ようやく 1 年間先延ばしになっていた東京 2020 オリンピックが開幕するわけですが、残念ながら首都圏を中心に無観客での開催になってしまいました。

ウィンブルドンでのテニスの試合やアメリカ・メジャーリーグで大谷選手が活躍していた時の観客席は満席でしたし、ほとんど観客がマスク無しというのには驚きと違和感を感じましたが、国内でも人数制限や感染予防対策はあるものの野球、サッカー、名古屋場所の相撲も観客を入れて開催しているだけにオリンピックの無観客試合は残念でなりません。

皆さんの中にはチケットを入手されてる方もおみえになるのではないのでしょうか。私の知り合いも都内でのオリンピック観戦を楽しみにしていましたが、無観客と聞いて

て、チケットの払い戻しがどうなるのかとか、ホテルのキャンセルについて心配してました。

東京都・小池知事は8日の記者会見で「断腸の思いだが、是非ご家族で、ご自宅で安心安全に大会を存分にご覧いただきたい」と述べてました。

個人的には、この「断腸の思い」には違和感があるのですが、それはさて置き、

オリ・パラピックが無事に開催、閉会することができ、新型コロナウイルスによる新たなパンデミックが起らないことを願うばかりです。

ちなみに私の地元金山では、今週末の24日(土)「プロギング・ツアーin 金山」を開催します。プロギングとはゴミ拾いとジョギングを合わせたスウェーデン発の新しいフィットネス・スタイルです。商店街と一般社団法人プロギング・ジャパンが名古屋市を交えてコラボレーションした企画で、金山駅を中心に2時間ほどジョギング(又は徒歩)をしながらゴミを拾い集めるというイベントです。走って健康に、拾ってエコに、を目的として集まり、交流を深めながら自分たちの足元から地球を変えることを目標にしています。

本日お越しいただいた岡田様は、現役のアスリートの方です。7/23のスポーツの日、そしてオリンピック開幕を迎えるにあたり、本日はスポーツや運動を通して自らを見直す例会になればと思っています。よろしく願います。

委員会報告

●出席報告 (内海 辰巳 副委員長)

本日の例会					
会員数	47		出席率	86.36%	
出席者	出席義務者	21	欠席者	出席義務者	6
	出席免除者	17	席者	出席免除者	3
	出席者計	38	者	欠席者計	9

●ニコニコボックス報告 (稲吉 将秀副委員長)

本日は地区大会のPRにお伺いさせて頂きました。どうか宜しく願います。

名古屋錦RC 小野田 誓 君
吉田 滋代 君

(株) サクラカゴ岡田様ようこそおいで下さいました。卓話、宜しくお願い致します。また、地区大会実行副委員長・小野田様、並びに吉田様、地区大会PR宜しくお願い致します。

田邊 雅彦 君

(株) サクラカゴ岡田様、卓話よろしく願います。また、名古屋錦RCの皆様、地区大会PR訪問ありがとうございます。

川口 直也 君

今日も元気でいこう。

山田 幹雄 君

公認会計士・山内会長エレクトのご協力に感謝して！
武田 英昭 君

岡田麻央さんを、卓話にお迎えして。

安川 正勝 君

元気に頑張ります。

杉本 敦永 君

今日も元気で！

照井 通夫 君	山内 佳紀 君	伊藤 康司 君
大野 和宏 君	堀場 竜司 君	中林 正人 君
内海 辰巳 君	石川 良治 君	串田 正克 君
三治 明 君	伊勢村道雄 君	稲吉 将秀 君
近藤 和彦 君	太田 哲郎 君	波多野 真 君
原田 好展 君	北園 守生 君	稲熊 正徳 君
山北 秀和 君	國田武二郎 君	田中 秀典 君
市川 孝 君	川瀬 公 君	金井 和治 君
真城 壮司 君	入谷 宏典 君	

御協力ありがとうございました。

本日の協力	33名	56,000円
本年度の協力累計		199,000円

地区大会 PR 訪問



名古屋錦ロータリークラブ

地区大会実行副委員長 小野田 誓君

名古屋錦 RC 会長/地区大会実行委員 吉田 滋代君

21-22 年度地区大会

1 日目 2021 年 11 月 6 日(土)

特別講演/RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

於：名鉄グランドホテル

2 日目 2021 年 11 月 7 日(日) 本会議

於：名古屋国際会議場

コロナ対策を万全にして準備しております。是非、皆様ご登録の上、ご参加下さい。

卓話

(株)サクラカゴ 代表取締役 岡田麻央様
「幸せな人生のきっかけをバスケットボールで作る」



田邊 雅彦 会長 岡田 麻央 様

初めまして岡田麻央です。本日は私のような若輩者が皆様の前でお話させていただける機会を頂きまして、ありがとうございます。

私はバスケットボール選手でして、日本女子バスケットリーグであるWリーグ所属のトヨタ紡織サンシャインラビッツというチームで、2007年から2015年までプレーしていました。引退して現在は愛知から東京へ拠点を移し、3×3という、東京オリンピックからオリンピック種目になった3人制バスケットボールの選手として2018年から現役復帰しています。夏のスポーツなので今もまさにシーズン中です。次は8月に試合があります。バスケ選手といっても3×3の女子選手は5人制バスケと違い、プレーヤーとしてだけで生活していける環境ではないので、選手はみんなOLや教師、警察官など、それぞれ仕事をしています。私の場合そのメインのお仕事というのが今回お話をさせていただくテーマの説明になっていきます。

私が今、東京で何をしているかという、3×3バスケットチームに所属している以外にタレント事務所にも所属していて、男子バスケットボールリーグの情報番組のレポーターをしたり、バスケウェアのモデルをしたり少しメディアに出させてもらっています。その他にも、アスリートが集って社会貢献をおこなうようなNPO法人にも2つ所属しているのと、日本サッカー協会のプロジェクト「夢の教室」の講師などで、教育活動もしています。私って肩書なにになるの？とよく聞かれるのですが、2019年9月に「株式会社サクラカゴ」を立ち上げて、今まで個人でやっていたことややろうとしていたことを、法人化してすすめているので、メインはバスケット選手兼赤ちゃん社長というのが現在の私です。会社を立ち上げた経緯としてはまず、そもそもなぜ私が引退をして東京へ行ったかという話からなるのですが、自分の幸せを追い求めたかったからです。私はトヨタ紡織を26歳で引退しました。30歳くらいまでやると思っていたのにそれよりだいぶ早く引退したのは、引退の年齢が近づいてきたことで引退した先の未来を現実的にイメージしたからです。

私が29歳や30歳になって引退し結婚して、そのまま紡織で働いたり、主婦やパートなどになって普通に生活するのを想像したとき、なんとなく「もったいないな」と思いました。そして私は、生きがかったバスケを終えたあとどんな人生なら幸せなのかを考えてみました。そうしたら、自分が幸せになるための条件がなんとなく見えてきたんです。

バスケットボールはただただ自分が好きだからやっていました。けどバスケットボール選手になったことで、私のプレーを見てファンになってくれる人ができました。試合を見に来るのが楽しみでずっと言ってくれる方、麻央ちゃんみたいになりたいと言ってくれることも。私の親も活躍をととても喜んで、応援することが日々の楽しみだと言ってくれました。私は、この状況をちゃんと理解したときに、「なんてラッキーなんだ」と思いました。私は自分がやりたいからやっているだけなのに、それによって周りの人たちがパワーにしてくれていたたり喜んでくれている。

自分がやっていて楽しいとかやりがいを感じることをすると、自然と周りのためになっているこの状況に、私はとても幸せを感じるのだとわかりました。バスケをやめても、人生の中でできるだけ長くそれが出来る状況を作ろうと思ったのです。

その中で、他の細かい条件としては

- ・自分にしか出来ないことをしたい
- ・家族全員を幸せにしたい
- ・仕事で色々な場所へ行って色々な経験をしたい
- ・死ぬまで成長したい
- ・結果人のためになることがしたい

など色々ありますがそういうことでした。

そうやって自分が幸せになるための条件が大体わかった私は、じゃあ何をしようと考えたときに、私が一番好きですってやってきて、自分を育ててくれたバスケットボールに恩返ししようと思ったのです。私は選手になったからといってバスケ界に貢献していることは殆どなかったです。女子バスケの試合には全然お客さんが入っていない現状にもなぜだろうと思っていたこともあり、日本代表になったこともない私が出来ることは、今までにないやり方で女子バスケ界を盛り上げていくことかなと思いました。となると手っ取り早いのがメディアに出ることだと、単純な私は行動を始めます。

そうして私が愛知から東京へ拠点を移し6年ほど経ちますが、この6年間で本当にいろんな活動をしてきました。最初は生きるために派遣社員をしながら、たまに来るメディアの仕事をし、アスリートつながりでの縁から生まれるイベントや教育活動などをし、3×3で選手復帰し、そんな中で生まれた縁で、今の親会社と出会ったのです。そこで選択になかった起業という選択肢が生まれました。最初は起業ということにビビっていましたが、私は東京へ来たことで、男子バスケ、女子バスケ、3×3、ストリートバスケ、学生と、日本の全カテゴリーのバスケ界の知り合いができ、それぞれの世界を大体理解していました。女子バスケは単体で盛り上げていくことに限界があると思っていたので、今までやってきたことが全てつながっていく感覚と、バスケット界で今この立場にいるのは私しかないなという

変な使命感を感じ、挑戦してみようとなりました。そうして行くうちに最初はぼんやり抱いていた思いが今、どんどん明確になってきています。自分はこういうことがしたいんだと。それが今回のテーマ「幸せな人生のきっかけを作る」ことです。簡単に言えば、やりたいことは「教育」です。ここが全ての根本だと思っているからです。

私はバスケットボールが生きがいで今まで生きてきました。つらい思いも苦しい思いも乗り越えて、そして結果的に、自分が幸せになるために考えて行動する力がまだまだですがついたと思います。

今思えば子供の頃、実家の家計が苦しくなって、友達と遊びに行くお金をお願いするのも申し訳ないと思っていたときも、バスケットに夢中になることで助けられました。「夢中になる」「本気で取り組む」ということには、子どもを救う力があるし、「自己実現できる大人に成長していくために大切な経験ができる」と思っています。

ということで私が会社でやっていることは、子どもたちの憧れを作ること。そしてそれを広めることです。

まずは女子バスケのYouTubeチャンネルを立ち上げました。男子バスケの情報番組はいくつかありますが女子はありません。YouTubeの影響力はすごいです。そのチャンネルを広める、活動を知ってもらうために、今私は全国でバスケットボールクリニックを開いています。そこでもやはりYouTube見てますと言ってくれる子どもたちや親御さんは多くなってきています。

そうやって日本全国のバスケに関わる人達にしてもらえるコンテンツを作れば、そこで発信することは影響力を持ちます。そこに出てくる選手も影響力を持ち、価値が生まれます。

女子バスケ界はプロチームではなく、トヨタ自動車やエネオスなど、企業スポーツなので、地域に根づくということが難しく、スポンサーもつけないし、ファンの人がいなくてもチームが回る状況ということもあり、なかなか広報活動を活発にできてきませんでした。SNSが普及した今ではリーグもチームももちろん広報活動は積極的になってきています。ですがそれもここ数年のことですし、それまでは日本の競技者にさえ目に触れる機会が少なく、知る切っ掛けさえあまりなかったのです。それでもバスケの競技人口はとても多く、世界では1位、日本でもいつも上位をしめています。こんなに競技人口が多いのに盛り上がっていないのはもったいない！と思い、日本の女子バスケをしている子どもたちやその親が見たくなるコンテンツを作って、そこでトップリーグのことも発信して、色んな方法でそのコンテンツの認知を増やして選手たちの影響力をあげようと思ったのです。

子どもたちは憧れの世界やあこがれの人がいるだけで、モチベーションになります。なにか大変なことがあってもやろう！と自ら思えるようになります。そしてその憧れの選手が発信することは、真似したいと思います。そのチャンネルで選手たちがいい事を発信すること、食事管理や練習方法、メンタリティや多様性社会への考え方で、子どもたちがお手本にすることでそれに影響される子どもたちはいい子に育っていくのではと思

っているのです。

それとともに、社会問題に対しても出来るだけ貢献していきたいと思っています。それは自身の経験や、キャラの全く異なる3人の兄弟に対する思いなどから生まれたものだと思っていますが、女子バスケの価値を高めることにも繋がります。

全ての社会問題を解決しようと思っても、自分の力は小さすぎるし、先を見れば終わりはないし、世界を見れば広すぎますが、ずっと自分が生きてきたバスケットボール界でなら、手の届く範囲を広げられるのではないかと考えています。それをバスケットボール界で広げていくことで、他の分野とも交流し、徐々に影響力が及ぶ範囲を広げていけたらなと思っています。

長くなりましたが、今私がやりたいと思っていることは、「できるだけ多くの人たちが幸せになるきっかけを作ること」です。

誰もが自分の幸せを追い求めていける社会をつくることです。

バスケットボールはそのためのコンテンツでしかありません。ですが私は魅力を感じてずっと大好きなスポーツなので、バスケ界に貢献しながら、社会や子どもたちの未来に貢献していきたいと思っています。

ということで今はまだ9月でまる2年立つくらいの小さな会社ですが、これから

どんどん実績を積んで、女子バスケ界でもお金の回る価値のある世界を作っていきたいと思っています。

これからやっていきたいことは、今やっているYouTubeやバスケクリニックや企業コラボ以外にももちろんあってバスケスクールを立ち上げること。

障害者スポーツに貢献していくこと。

子どもも大人も各カテゴリーで大会を作っていくこと。海外に子どもたちを連れて行って経験をさせること。

などがあります。

これからもコツコツと実績を積んで、日本全国で知られる会社、コンテンツをつくって、女子バスケ界を憧れの世界にしなから、社会や子どもたちの未来に貢献していきたいと思っています。

そして私の地元でもありバスケ大国でもある愛知県でも、大会やスクールやイベントを開いたりしていきたいと思っていますので、なにかご協力いただけることがあればぜひ、よろしく願いいたします。

